



議 事 概 要		交通部門	新規道路が供用される場合、それまでの交通流が一変し、新しい交通の流れができる。すると、地理不案内な運転者や従来の感覚と現実との相違に対応できない者等との交通事故の発生が危惧されるため、沿線住民等地元への広報啓発に加えて、街頭指導等の実施により、交通事故の未然防止に努めてほしい。
		警備部門	大地震などの災害に対する危機意識の醸成はもちろんのこと、危機感を維持することが重要だと感じる。警察や市役所・他機関と住民を交える官民一体となった訓練を繰り返すことにより、危機意識が向上するのではないか。
			フェリーで実施したテロ対処訓練は非常に有効であったと感じた。今後も訓練を繰り返すことにより、乗組員を含めた参加者の練度を維持向上させることに繋げてほしい。
	<p>4 業務推進結果、業務推進計画の説明 令和5年10月から令和6年1月末までの業務推進結果及び令和6年2月から5月末までの業務推進計画について、各課長が報告、説明した。</p> <p>5 協議会会長による講評 近年、社会構造や犯罪情勢が変化し、県民のニーズも多様化する中で、安全で安心な社会を実現するためには、警察が地域社会や関係機関・団体と連携し、協働することにより、社会全体で良好な治安の維持・向上に取り組む環境づくりに努めていく必要がある。 警察活動は、県民の理解と協力の下に成り立っており、県民は強靱で信頼できる警察組織であることを願っている。 今後も、全職員が誇りと使命感を持って、その真価を如何なく発揮して、県民の期待と信頼に応えてほしい。</p> <p>6 その他 (1) 映像資料の視聴 令和5年10月に、東予港フェリーターミナルに停泊中の「おれんじおおさか」で実施したフェリー乗組員、海上保安部、消防、警察合同によるテロ対処訓練の映像を視聴した。 (2) 刺股使用の実践的訓練体験</p>		

刺股の効果的な使用方法や注意点などについての実践的訓練を体験した。

7 添付資料

○ 警察署協議会の開催状況の写真



協議会開催状況



刺股使用の実践的訓練状況